

校長室だより

No. 12

平成28年6月24日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよしかず
加藤嘉一

読書の推進 図書委員会の新たな取り組み —あじさい読書週間—

本年度、図書委員会の子たちが、これまでにない集会を開いてくれました。はじめは、読書カードの書き方を大きな紙を使って示し、その後は、なんと学級ごとにブースを作って、図書委員のお勧めの本の読み聞かせをしてくれたのでした。読み聞かせに行く前に、わたしの近くにいた4年生の図書委員さんは、



「緊張する～。わたしたちは、6年生に読まなきゃいけないものなあ。」と、ドキドキしているようでした。でも始まると上手に読んでいます。ちょうどいい緊張感になったようです。

体育館で、全学級一斉に読み聞かせが始まりましたが、少しも他のブースが気になりませんでした。子供たちは読み手の話を興味深そうに聞いていましたし、これまでにない集会でもあり、心地よい時間になったようです。

紹介した本
「ある乞食僧の話」
「海のむこうからのおくりもの」



本校では、「るるの会」の方々が、定期的に朝に素敵な本の読み聞かせをしてくださっています。この日の集会だけでなく、昨年から、年度初めに1・2年生の教室に5・6年生が行って、読み聞かせをする活動も行っています。昨年の学校診断アンケート結果では、「おさんは、進んで本を読んでいる。」(保護者回答)の結果は芳しくありませんでしたが、今年は、なんとか本に親しむ子が増えてほしいと願っています。

この図書委員会のがんばりにうれしくなり、読書の応援をしようと思って、校長室の廊下に、絵本の紹介コーナーを作りました。

第1回学校評議員会より

先週土曜日の家族参観デーには、多数の保護者のみなさんに御参観いただき、誠にありがとうございました。2か月たったところでのお子さんの様子はいか

がだったでしょうか。この日に第1回学校評議員会を開催し、学校評議員の方々にも授業を御参観いただきました。本年度の重点努力目標（先週の続きをこの後掲載）等、お知らせした後に御意見をいただきました。要点を紹介します。

【学校評議員のみなさんより】

- 子供は本当によく落ち着いている。中学校との連携も本年度よいスタートが切れている。
- 授業参観では、自分ならどうするかをよく考えさせる授業など、深い学びが見られた。
- 親子で話をする時間が少なくなっていないか心配。子供の育て方を相談したり、家庭教育について先生と話し合ったりする視点も考えられるとよい。
- あいさつはできる子とできない子がわかれてきていないか。基本的なあいさつは、だれもができるようにしたい。
- 学校教育は学習が中心であり、家庭教育でしつけるべきこととのすみ分けが必要ではないか。
- 昨年度学校診断の回答にあった検討事項について、どうする予定か。
⇒ 検討した点でお知らせすべきことは、校長室だより等でお知らせしていきます。

様々なお立場で御意見をいただきありがたく思いました。六ツ美中部小学校の子供たちのために、本校の教育が前進するよう努めてまいります。

本年度の重点努力目標（先週の続き）

○引き続きの取り組み
☆の項目と網掛け部分が
新規の取り組み

イ うんどうがだいすきな子を育てる

- ・種目・教材の開発、準備運動の方法や指導方法の工夫に努め、運動に意欲的に取り組む態度とバランスのよい体力を育成する。

- 体力テストの分析と対策（現職研修）
- 授業研究（授業）
- ☆体育祭学年演技・競技の新たな形の研究
- ☆子供全員参加の体育祭テーマづくり

- ・集会や長い休憩時間に、運動に親しむことができる遊びや道具の紹介、環境づくりに努める。

- 体育・保健委員会による活動（休み時間を利用した委員会活動）
- 遊具の整備（環境整備）
- 集会の時間の確保（毎週木曜日実施）

- ・竹馬、一輪車、縄跳びなどの運動を取り入れ、成果を自覚する場をもつ。

- 竹馬、一輪車の整備（教具）
- ☆社協主催「竹馬ギネス」の協力
- かけあしカードの工夫（体育委員会）
- 縄跳び検定・チャンピオンの工夫（体育委員会）